

技術提案評価基準

評価項目	評価の着目点	評価対象書類	評価の判断基準	配点
事業者の実績	同種業務実績	様式第3号	過去15年間(平成19年度から令和3年度)に、国または地方公共団体が発注する最終処分場(一般廃棄物、産業廃棄物は問わない。)の候補地選定を支援する業務(以下、「同種業務」という。)を完了した実績を有する場合に評価 ※最大3件まで	15
配置予定主任技術者(廃棄物分野)の実績及び能力	技術士資格	様式第6号	技術者の取得資格(技術士:衛生工学部門-廃棄物・資源循環、廃棄物管理、廃棄物処理、廃棄物管理計画または総合技術監理部門-衛生工学-廃棄物・資源循環、廃棄物管理、廃棄物処理、廃棄物管理計画)を有する場合に評価	5
	同種業務実績		過去15年間(平成19年度から令和3年度)に、同種業務を <b>主任技術者</b> として完了した実績を有する場合に評価 ※最大3件まで	12
配置予定担当技術者(廃棄物分野1名)の実績及び能力	技術士資格	様式第7号	技術者の取得資格(技術士:衛生工学部門-廃棄物・資源循環、廃棄物管理、廃棄物処理、廃棄物管理計画または総合技術監理部門-衛生工学-廃棄物・資源循環、廃棄物管理、廃棄物処理、廃棄物管理計画)を有する場合に評価	2
	同種業務実績		過去15年間(平成19年度から令和3年度)に、同種業務を <b>技術者</b> として完了した実績を有する場合に評価 ※最大3件まで	6
業務実施体制	業務実施体制の妥当性、充実度	様式第5号	実施体制の妥当性、充実度 ※実現性を考慮した体制、専門知識を有する技術者を配置、素早い現地調査が可能な体制、調査や評価が適切に実施できるかなどを評価	10
特定テーマ1	候補地選定手法	様式第9号	業務内容の理解度 ※背景・目的の理解度、実現性を考慮した実施方針、着眼点・理由、具体的対応策などを評価	5
			候補地選定手法の妥当性 ※経験に基づく選定手法、工程短縮が期待できる工夫、適切な調査方法、適切な評価方法などを評価	15
	工程	様式第10号	業務実施工程の妥当性 ※工程に不備・無理がないか、円滑に進めるための工夫、学識経験者意見聴取・庁内の合意形成に十分な期間をみこんでいるかなどを評価	10
特定テーマ2	今後の合意形成に向けた取り組み	様式第11号	今後の合意形成に向けた取り組み ※市民の理解度を深める情報発信、選定過程の適切な時期・頻度での情報発信、地域住民に配慮した取り組み、合意形成に結び付ける工夫などを評価	10
ヒアリング	資料作成能力	—	提案資料について、的確な文書表現、作図等の創意工夫、重点箇所の整理方法等は分かりやすく、説得力があるか。	5
	コミュニケーション能力	—	プレゼンテーションが分かりやすく、説得力があるか。また、質疑に対する的確な応答であるか。	5
合計				100